

命を守る
ために

避難はどうする？

記録的な台風が近づいてくるとき

災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。

大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動（避難タイミングと避難先）を確認しましょう。

記録的な台風が近づいているとき

原則

命を守るための
避難行動

台風が近づいて風が強くなる前、浸水が始まる前に **早めの避難！！**

逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守れる場所へ

避難先の
優先順位

1 自宅・親戚宅・知人宅・
職場など
(市内に限らず浸水しない安全な場所)

避難先の
優先順位

2 最寄りの避難所
(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先の
優先順位

3 ■最寄りの水害時(津波)避難ビル
(最寄りの浸水しない安全な場所)
■高い建物や高い場所
(最寄りの浸水しない安全な場所)

ポイント

状況・情報に応じて命を守る行動を

浸水が浅いなど
自宅にとどまれる方

無理に外に出ない

風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。
自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。



浸水が深いなど
自宅にとどまれない方

早い段階で避難

避難所へ避難するなら
開設状況を確認

浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。

市内に限らず親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。



水害時(津波)避難ビルについて

大阪市では、河川氾濫や津波から一時的または緊急的に命を守るための施設として水害時(津波)避難ビルの確保を進めています。

いざというときのために、最寄りの水害時(津波)避難ビルを確認しましょう。

